

第61号

平成29年2月17日



市議会だより

■11月臨時会

11月21日～11月22日

■12月定例会

12月7日～12月15日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉

1月8日 下田市成人式(下田市民文化会館)



11月、12月の主な話題

■議員期末手当引き上げ条例 否決

■幼稚園・保育所利用者負担額軽減条例 可決

11月臨時会

11月臨時会総括

11月臨時会は11月21日、22日の2日間開かれ、下田市議会議員の期末手当を0.1月分引き上げる内容の条例改正議案1件、人事院勧告に基づく市職員の給料、勤勉手当等を引き上げる条例改正議案3件、人件費関連の補正予算6件が審議されました。

議員の期末手当引き上げに関する条例改正は否決されました。

12月定例会

12月定例会総括

12月定例会は12月7日から15日までの会期にて開かれ、条例改正等議案11件、補正予算4件、人事関連議案1件に加え議員発議1件を含めた17件について審議されました。

今回の定例会では、幼稚園・保育所の利用者負担額が見直され、負担額が軽減されることとなりました。

また、賀茂1市5町及び県が連携して、学校教育等に関する専門事項の指導に取り組むための連携協約変更に関する議案6件が可決されました。



- 委員長 土屋 忍
- 副委員長 滝内久生
- 委員 進士為雄 竹内清二
- 鈴木 敬 伊藤英雄
- 沢登英信

条例関係

『議第91号 賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（静岡県）』

『議第92号 賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（東伊豆町）』

『議第96号 賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（西伊豆町）』

教育分野において、賀茂1市5町及び県の指導主事

11月臨時会

11月臨時会総括

11月臨時会は11月21日、22日の2日間開かれ、下田市議会議員の期末手当を0.1月分引き上げる内容の条例改正議案1件、人事院勧告に基づく市職員の給料、勤勉手当等を引き上げる条例改正議案3件、人件費関連の補正予算6件が審議されました。

議員の期末手当引き上げに関する条例改正は否決されました。

12月定例会

12月定例会総括

12月定例会は12月7日から15日までの会期にて開かれ、条例改正等議案11件、補正予算4件、人事関連議案1件に加え議員発議1件を含めた17件について審議されました。

今回の定例会では、幼稚園・保育所の利用者負担額が見直され、負担額が軽減されることとなりました。

また、賀茂1市5町及び県が連携して、学校教育等に関する専門事項の指導に取り組むための連携協約変更に関する議案6件が可決されました。



- 委員長 土屋 忍
- 副委員長 滝内久生
- 委員 進士為雄 竹内清二
- 鈴木 敬 伊藤英雄
- 沢登英信

条例関係

『議第91号 賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（静岡県）』

『議第92号 賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（東伊豆町）』

『議第96号 賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（西伊豆町）』

教育分野において、賀茂1市5町及び県の指導主事



- 委員長 小泉孝敬
- 副委員長 進士濱美
- 委員 橋本智洋 大川敏雄
- 増田 清 森 温繁

条例関係

『議題90号 下田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について』

国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うとともに、条文の整備をするものです。台湾の企業が稼得する船舶又は航空機による国際運輸業に係る日本国内源泉所得について、相互主義に基づき日本での課税を免除していますが、これにより日本と台湾双方との間で民間取決めとして結ばれた、所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための規定内容を日本国内で実施するための国内法の整備を行い、租税条約に相当する枠組みを構築し、改正で運輸所得以外にも適用を広げ、実質的に租税条約に代替する機能を付加するものです。

平成28年度 下田市一般会計補正予算

*市民保健課

■予防接種事業 57万6千円

■母子保健相談指導事業 37万7千円

乳児健診委託費です。

■東部ドクターヘリ格納庫整備事業費補助金 264万5千円

■環境対策課

■ごみ収集事務 356万8千円

主なものは、粗大ごみ処理委託249万3千円、ビン、ガラス処理委託84万3千円です。

■産業振興課

■有害鳥獣対策事業 110万円

イノシシ、シカ、サル買上金です。

■下田地区漁港機能保全整備事業 1,992万2千円

吉佐美漁港機能整備工事費です。

■観光交流課

■観光まちづくり総務事務 72万円

主なものは、印刷製本費32万3千円、トライアスロン関係謝礼8万4千円です。

が連携し、学校教育等に関する専門的事項の指導に取り組むための連携協約変更で、静岡県下田総合庁舎内に県の指導主事一人、下田市に一人、南伊豆町に一人、東伊豆町と河津町に一人、松崎町と西伊豆町に一人、計五人の指導主事が連携して若手教員などを対象とした研修の充実や、学校への定期訪問の強化などを実施することとなります。

『議第97号 下田子どもたちの教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について』

幼稚園や保育所を利用している家庭の利用者負担額を軽減するための条例改正で、主に低所得世帯が軽減の対象となります。例えば、幼稚園では一律月額6,100円であったものが、生活保護世帯と非課税世帯は0円に、均等割のみ課税世帯は3千円に、その他の世帯は従来通りとなります。保育園においてはほとんど世帯で軽減されることとなり、実施は平成29年4月1日となります。

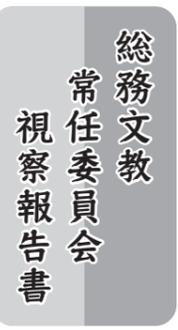
■建設課

■県営港湾事業負担事務 360万円

港湾整備物揚げ場改修事業負担金です。

■土木総務課 245万2千円

下田メデイカルセンター隣接地及び箕作の測量と登記事務委託費等です。



視察日 平成28年10月19日(水)～20日(木)

視察地

- 石川県金沢市
- 富山県氷見市

金沢城公園

- 参加者
- 委員長 土屋 忍
 - 副委員長 滝内久生
 - 委員 進士為雄 竹内清二
 - 鈴木 敬

視察目的

◎国指定史跡の整備状況を

『議第99号 下田市学校施設整備基金条例の制定について』

下田市立小学校及び中学校の施設の整備を推進するため、「下田市学校施設整備基金条例」を制定し、毎年度予算の範囲で積み立てて行くこととなります。本会議や委員会では、「小中学校それぞれ、防災設備や雨漏り対策、トイレの洋式化が不十分であり、それらの施設整備をまず実施すべき」などの意見が出されましたが、全会一致で可決されました。

平成28年度 下田市一般会計補正予算

■企画財政課

■財政調整基金 △1億5千万円

下田市学校施設整備基金に同額を積み立てるため取り崩すものです。

■ネットワーク推進事業 158万4千円

市ホームページデザイン変更委託費です。

調査し、下市内の史跡整備立案に資すること。

◎既存建物（学校施設）を活用し、庁舎移転した氷見市役所を調査し今後の新庁舎建設立案に資すること。

■視察報告

金沢城公園

○金沢市は本州のほぼ中心に位置し、石川県の県庁所在地となっています。平成8年には中核市に移行し、その人口は466,375人（平成28年10月1日現在）。



金沢城内

○金沢城公園は加賀藩前田家14代の居城であり、明

治以後終戦までは陸軍の拠点、その後平成7年まで金沢大学のキャンパスとして利用されていました。○平成7年の金沢大学移転に伴い、平成8年に石川県が国から金沢城を取得し、基盤整備の後、平成13年に都市公園として開園しています。



○歴史的文化遺産を後世に継承し、兼六園と並ぶ金沢のシンボル公園として、また、石川県の歴史・文化・伝統を継承する「象徴」とすべく、整備が行われていました。○平成20年には国指定史跡として指定され、建造物

の復元、周辺整備が進められています。○多くの見学者が訪れており、交流人口の拡大に大きく寄与している現状があり、今後の史跡整備立案に大いに参考となりました。

氷見市役所
○氷見市は富山県の西北、能登半島の東側付け根部分に位置し、人口は49,289人(平成28年10月1日現在)。

○旧庁舎は本館が昭和43年の竣工(築44年目)、別館が昭和34年の竣工(築53年)で老朽化が著しく、立て替えの必要がありました。平成23年10月からの耐震診断調査で、耐震性能は基準値を大きく下回っており、倒壊、崩壊の危険性が高いとされ、さらに、糸魚川沖地震による津波の浸水想定区域に位置していました。

○建替え以前は本庁舎、教育文化センター、いきいき元気館、環境浄化センターの4箇所に分散し、利用者にとって極めて不

便な状況でした。○既存建物(2棟の体育館)の建築年次が新しいこと、敷地面積が広いこと等の必要最低限の要件を満たしていたことから、中心市街地にあつた旧庁舎から約1kmに位置する旧県立有磯高等学校に建設されました。

○新庁舎用地の用途地域は第1種住宅地域となつていましたが、庁舎移転決定後、急遽用途変更を行っていました。

○「新庁舎デザインワークショップ」を開催し、市民からの提案を活用する手法を取り入れるなど、市民の関心を深める努力がなされていました。

○新庁舎の整備方法については、現庁舎の補強、現在地での新築等7つの選択肢を想定し、比較検討が行われ、高等学校統合により廃校となつた旧有磯高等学校の体育館・校舎を改修して再利用する案で決定されました。整備方法は決定の一番の要因は財政的理由とのことでした。



氷見市当局との質疑応答

○氷見市の平成26年度決算における財政力指数(3箇年平均)は0.43で、下田市同様、財政状況は厳しい現状があり、緊急防災・減災事業債(充当率100%、交付税算入率70%)を活用し財政負担を軽減していました。新庁舎整備事業費は19億3,876万3千円で、緊急防災・減災事業債充当事業費は16億1,000万円となっています。

○新庁舎の本庁舎部分は、A棟(SRC造2階建、延床面積2,042㎡、旧第2体育館、平成8年建築)B棟(SRC造2階建、延床面積2,960㎡、旧第1体育館、平

間に事業が完了しており、事業展開のスピード感には驚くものがありました。しかし、市民の意見を十分聞いていない等の反対意見もあつたようです。



○廃止された学校施設を庁舎に有効活用する場合のメリット、デメリットを把握できたことは、今後の新庁舎建設立案に参考となりました。

産業厚生 常任委員会 視察報告書

視察日 平成28年11月7日(月)～8日(火)
視察地 長野県上田市

参加者
委員長 小泉孝敬
副委員長 進士濱美
委員 橋本智洋
大川敏雄
増田 清

視察目的

○健康づくりについて

○企業誘致について

○上田ブランドについて

日程

11月7日(月) 初日
○上田市ひとまちづくりげんき健康プラザを行政視察

○げんき健康プラザにて行政担当及び関係事業者と視察目的に関する質疑を行いました。

○上田ブランドの展示、販売現場に向き説明と現況の報告を受けました。

11月8日(火) 2日目

○市内主要施設見学。中でも別所温泉の歴史と今を視察、さらにNHK大河ドラマの中心舞台である上田城周辺の驚くような賑わいに反響の大きさをあらためて知ることができました。

1. 上田市の概要

長野県上田市は、平成18年3月、上田市、丸子町、真田町、武石村が合併し誕生した人口16万人の長野県東部に位置する中核都市です。

「輝く未来につながる健康都市」をキャッチフレーズに「市民が主役」、「安全・安心な環境のまちづくり」、「産業が育つまちづくり」、「健康やかに暮らせるまちづくり」、「生涯を通じ心を育むまちづくり」、「文化を育み、風格漂うまちづくり」と幅広い分野に目標を掲げています。

地域の基盤となる産業は、特化こそされていないものの、少雨多照、寒暖差のある気象条件を巧みに利用した果樹、花き、水稲など地場農畜産物の生産は量、質ともに豊かと言えます。観光事業は、温泉地も多く、また上田城など歴史的な文化遺産も数多く保存され、さらにウインタースポーツリゾート地を抱え、年間の訪問者は400万人に達し

ています。



上田市議会との交流

しかしながら、人口減少の波はここでも避けられず、近年、そうした課題への取り組みが要望されている折上越自動車道に加え、JR北陸新幹線の開通で産業再生に伴う人口動態に変化の兆しが現れており、近隣の軽井沢、長野市との広域化首都圏1時間の距離は確実に文化、産業面でのチャンスを生み出していることが読み取ることが出来ます。従来、信越圏域は教育に力を注ぐ傾向が強く、中堅の都市が目指す健康やかな暮らしの維持、成熟にどう変化していこうとしているのか視察の目を向けることになりました。

2. 視察事項

成3年建築) C棟(RC造3階建、延床面積1,609㎡、旧校舎棟、昭和41年建築) D棟(S造2階建、延床面積165㎡、エントランス棟、新築) E棟(S造2階建、延床面積249㎡、B棟C棟結節部分、新築)により構成され、総面積は5,469㎡)となっていました。

○旧校舎棟は1棟のみを活用し、他の校舎棟は解体され駐車場用地(来庁者用100台、職員用200台)となっていました。校舎棟は建築年次が古く、耐用年数も短いことや校舎床の設計荷重が事務所としての設計加重を満たしていないこともあり、校舎棟は1階のみ事務所とし、2階3階は倉庫、会議室等に利用されていました。

○平成23年10月の旧庁舎耐震診断調査開始から平成26年5月の開庁まで短期健康づくりについて、全国の地域で大なり小なりの活動が見受けられます。その背景には、長寿命化、生活習慣病などの主要要因に伴う、介護態勢の不足や保険制度の逼迫を浮き彫りにしている実情があり、「上田市では糖尿病が全国レベルでも大変高い」との意外な現状が説明されました。市民の健康意識が年々高まり、ウォーキングをはじめ、健康イベントが随所で実施されるようになり、また、医療制度も予防に重点が置かれ、個々の状態に応じた細かな展開が要求されるようになり、こうした現状を踏まえ、健康維持、促進のための基幹的拠点として新たな視点で誕生したのが「ひとまちげんき健康プラザ上田」であり、9億7,000万円を投じて平成22年6月に開所されました。健康事業の2本柱は、「運動の実践」と「食の改善」

として、市民一人ひとりの個性に応じた健康維持の方法を見つめる工夫が施されています。「個」に対応するためにコストとの戦いが想像されますが、何よりも市民が気軽に訪れ、体験でき、実践してみることがモットーにプログラムが施されています。さらに、地域コミュニティ形成の視点も取り入れた事業の展開が次のステップとして設定されていることであらざるべき展望が見えてきます。

プロジェクトのイメージは、
 ①子どもの健康づくり支援
 ②若い世代からの健康づくり
 ③楽しみながらの健康づくり
 ④身近な地域での健康づくり
 ⑤科学的データに基づく健康づくり

健康づくりにチャレンジするとポイントが獲得できる制度は実益も伴うとのこと、人気のようでした。

2. 企業誘致について

まず、企業誘致を前面課題とする上田市の産業現状の分析について報告を受けました。人口減少による市場の縮小、従来貢献度の



上田市副市長への表敬訪問

きかつた大手企業の海外進出による市内産業の衰退、それに伴う働く場所の減少による若者の首都圏等への流出があり、人口は、平成12年をピークに減少に転じ、年少人口、生産人口は平成7年からの減少が続いていました。

市内の総生産から見ると、平成16年の6,000億円を最高に、ここ数年は4,000億円台まで落ち込み、ことに製造業の落ち幅が大きく影響しています。製造業の特徴は、電気、輸送割合が高く、部品中心の加工組み立て産業が7割を占めていました。これは人件費の安い海外製造とまともに重なる分野であり、区別化の工夫に力を入れています。

上田市では、昨今の地域振興、企業誘致策に先立ち、早くから工業団地を造成し、市内企業の誘致と住工混在の解消を目指し取り組み、平成23年に工業団地は完売していた経緯があります。しかしながら、大きな産業環境の変化に対応しきれないなかったことを示すものでした。

産業課題解決に向けた現在取り組み3つの方針、①経営基盤の強化 ②創業支援 ③企業誘致により「もづくり産業の振興」を明確に位置付けていました。

①経営基盤の強化。産学官連携による団体エールックとの連携強化。工場立地法準則条例の制定、雇用創出事業補助金制度の創設。

②創業支援では、国から認定を受けた創業支援事業計画の策定。多種団体による創業プラットフォーム設置により、首都圏からの起業家を誘致開始。また、創業促進の補助金を創設。

③企業誘致の策として、商

工業振興条例の改正、宅建協会、金融機関との連携の強化。また、区域内に向いている視点を外に向けて千曲川流域10市町村広域連携を図り、総じて1兆円規模の産業域が生まれています。

3. 上田ブランドについて

上田商工会議所の青年部有志が始めた「上田プロジェクト UP」。上田市まるごとブランド化をイメージして、まず手がけた特産品パッケージなどに使うデザイン「組六紋」が、東京五輪、パリリンピックに使用する公式デザインに採用されました。これで一気に注目を集め、市内商品へのデザイン応用が広がりをみせ、主要5人のメンバーは、今後、参加事業者、商品の拡大を訴え、市にも協力を呼びかけて行くそうです。

組六紋は、上田市にゆかりの深い真田氏の家門「六文銭」が基になっています。この組合わせ、色の変化によりデザインは自由度が増します。すでに統一した包



上田ブランド製品販売所

統一感のあるデザインを使用することで、上田のイメージの下地ができてつながら、また、異業種ともつながるキッカケを作っています。スタートして間もないこともあり、まだ参加者、商品数ともに足りない状況にあります。さらに、大掛かりな商品の取り込みも課題となり、本来、個性を競う商業において、統一デザインが消費者に限らず商業者にどこまで受け入れられるかを試すチャレンジでもあります。TVドラマ人気に触発された感否めない

ですが、こうした波は時代を乗り越えるブランド力まで到達する継続した努力が

「ブランド氾濫」の中では分岐点と思われる。

沼田市姉妹都市提携50周年記念事業

11月22日、姉妹都市提携50周年を記念して、群馬県沼田市より横山市長、星野議長をはじめ、総勢32名の皆様が下田にお越しくださいました。

初日には、ホテル伊豆急にて歓迎交流会を行い、「覚書」の署名を取り交わしたほか、下田太鼓の演奏、下田節の踊り、祇園囃子の演奏、「沼田の歌」の合唱を行い、両市の交流を深めることができました。



翌日には、下田市民文化会館前の花壇にて、沼



田市より寄贈いただいた「りんごの木」の記念植樹を行いました。

植樹した「りんごの木」は黒船祭が行われる5月頃に、白い花を咲かせるそう、開花を心待ちにしています。

今後もなお一層、沼田市との交流を深め、この交流がこの先100年、200年と続くことを願っています。皆さんも「りんごの木」の成長を見守ってあげてください。

12月定例会

一般質問

- 竹内清二 (自公クラブ)**
1. アクティブラーニングの実施について
 2. 多角的なシティプロモーションについて
 3. ふるさと納税制度の効果的な利用促進について
 4. 動物愛護推進について
- 進士為雄 (明政会)**
1. 今後の行政運営について
 2. 今後の街づくりについて
 3. 機構改革について
- 鈴木 敬 (かいかく)**
1. ハリスの足湯の復活と中心市街地の再生について
- 小泉孝敬 (自公クラブ)**
1. 下田市のまちづくりについて
 2. 新庁舎建設について
 3. 稲生沢川水系の安全管理及び環境整備について
- 増田 清 (自公クラブ)**
1. 政治姿勢について
- 沢登英信 (日本共産党)**
1. 中心市街地の活性化とハリスの足湯の復活について
 2. 中学校を1校化することの問題点について
- 橋本智洋 (清新会)**
1. シティセールス、シティプロモーションについて
 2. 地方創生と経済活性化について
 3. 伊豆縦貫自動車道開通後の下田市のビジョンについて

意見書提出

平成28年12月18日に地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣及び関係大臣等に提出しました。

○安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

人事案件

○教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、西堀政幸氏(宇土金)を任命することについて、同意しました。

番号	11月臨時会議案件名	審議結果
議第79号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第80号	下田市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第81号	下田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第83号	平成28年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第84号	平成28年度下田市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第85号	平成28年度下田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第86号	平成28年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第87号	平成28年度下田市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決

番号	12月定例会議案件名	審議結果
議第88号	教育委員会委員の任命について	同意
議第89号	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について	原案可決
議第90号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第97号	下田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第98号	下田市立学校給食共同調理場設置条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議第99号	下田市学校施設整備基金条例の制定について	原案可決
議第100号	平成28年度下田市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議第101号	平成28年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議第102号	平成28年度下田市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第103号	平成28年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
発議第11号	安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書の提出について	原案可決

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 -：欠席)

番号	11月臨時会議案件名	進士為雄	進士濱美	橋本智洋	滝内久生	竹内清二	小泉孝敬	大川敏雄	鈴木敬	伊藤英雄	土屋忍	増田清	森温繁	沢登英信	審議結果
議第78号	下田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	否決
議第82号	平成28年度下田市一般会計補正予算（第4号）（修正案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

(○：賛成 ×：反対 -：欠席)

番号	12月定例会議案件名	進士為雄	進士濱美	橋本智洋	滝内久生	竹内清二	小泉孝敬	大川敏雄	鈴木敬	伊藤英雄	土屋忍	増田清	森温繁	沢登英信	審議結果
議第91号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（静岡県）	○	-	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
議第92号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（東伊豆町）	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議第93号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（河津町）	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議第94号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（南伊豆町）	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議第95号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（松崎町）	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議第96号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更について（西伊豆町）	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

※議長（森温繁）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

編集委員会

委員長 土屋忍
副委員長 小泉孝敬
委員 進士濱美、滝内久生、竹内清二

議会を傍聴
市議会へのご意見・ご要望をお寄せ下さい

編集後記

新しい年が明けて一か月が過ぎました。市民の皆様におかれましては、清々しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。何といたっても健康が一番、一年を通して寒さ厳しき折、風邪などひかないよう気をつけたいものです。あと少しで新年度を迎えます。心機一転新しい世界へ羽ばたく若者は大きな夢を叶えて欲しいものです。

(滝内)